



2020年3月期 第2四半期

決算説明会資料

2020年11月11日

株式会社アイ・ピー・エス

証券コード 4390

企業理念

OPEN DOOR

私たちは、いまだ誰も突破できていない障壁のある生活に密着した分野で、誰よりも先んじて事業機会を創造し、事業を展開し、産業構造を変え、あるべき社会を実現してまいります。

経営目標

「共生社会の実現」

少子高齢化の中では、移民の受け入れは不可欠であり、多様な価値が調和していく社会の実現を目指します。



1 | Executive Summary

2 | 2020年3月期上期 決算概況

3 | 2020年3月期上期 Topics

2020年3月期上期 決算概要

売上高：3,161百万円 営業利益：546百万円 営業利益率：17.3%
(前年同期比15.3%増) (前年同期比15.5%増)

2020年3月期上期の事業推移

1. 海外通信事業の短期リース販売単価の下落などの影響により、減収・減益。
2. フィリピン国内通信事業は、法人向けブロードバンド事業が順調に拡大。
3. 国内通信事業は、コールセンター向けのサービスが拡大し、増収・増益。今後は、フィリピンにいる高度人材の紹介に業態転換を図る。
4. 在留外国人関連事業は、案件はあるも、人材確保が厳しく、減収・損失。
5. 医療・美容事業は、レーシック手術件数が伸長し、増収・増益。

ビジネス

1. マニラ首都圏のMRT3への光ファイバー回線敷設を進める。
2. ミンダナオ地域の現地CATV事業者と提携して光ファイバー回線敷設を開始。
競争が激化するマニラではなく、地方に収益源を求める。
3. パナイ島での回線敷設のための資材を供給。工事開始。

2 | 2020年3月期上期 決算概要

【2020年3月期上期 連結実績】

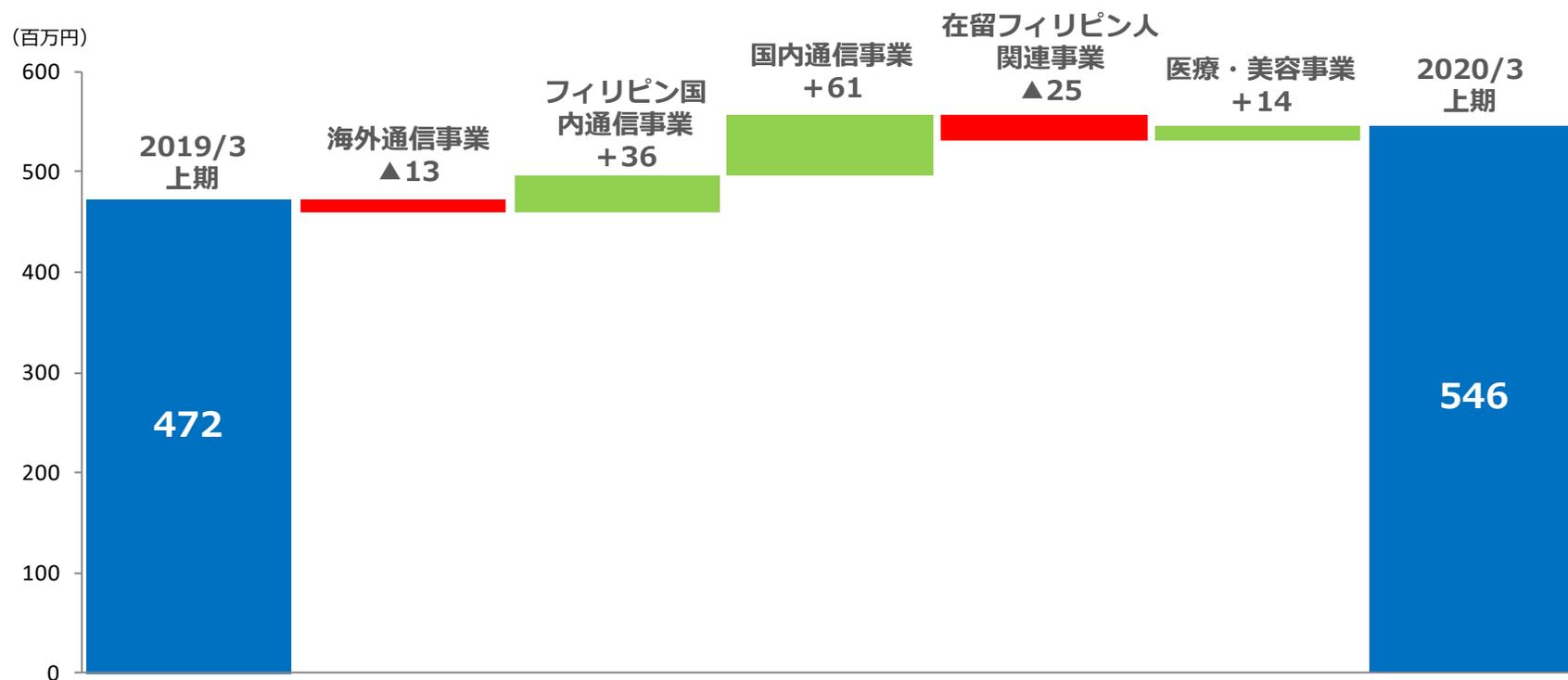
(単位：百万円)

	2019年3月期 上期実績	2020年3月期					
		1Q実績	2Q実績	上期累計	前年同期比	通期予想	達成率
売上高	2,742	1,577	1,583	3,161	419 (+15.3%)	7,000	45.2%
営業利益	472	308	237	546	73 (+15.5%)	1,200	45.5%
経常利益	617	231	263	495	▲122 (▲19.8%)	1,190	41.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	390	139	176	316	▲74 (▲19.0%)	640	49.5%

2020年3月期上期実績分析

- **売上高**：法人向けインターネットサービスの伸長によるフィリピン国内通信事業の大幅増収と、国内通信事業および医療・美容事業が好調に推移したことにより、前年同期比15.3%増。
- **営業利益**：コールセンター関連サービスなどの伸長により国内通信事業が大幅増益し、前年同期比15.5%増。
- **経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益**：
第1四半期に80百万円計上したリース資産および外貨建て資産の評価替えによる為替差損は縮小し、64百万円を計上。その影響により前年同期比減益。（前年同期には為替差益155百万円を計上。）
- **各セグメントごとに進捗に差があるものの、事業全体では順調に推移しているため、通期予想は変更していない。**

フィリピン国内通信事業と国内通信事業が利益拡大を牽引。

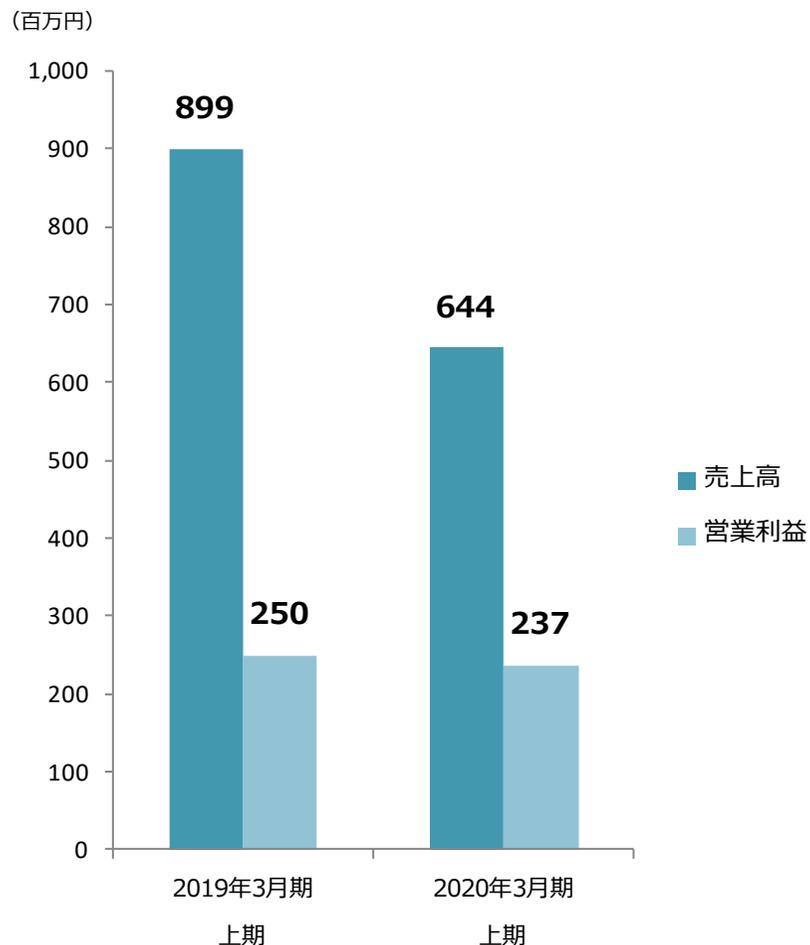


事業セグメント別経営成績



(単位：百万円)

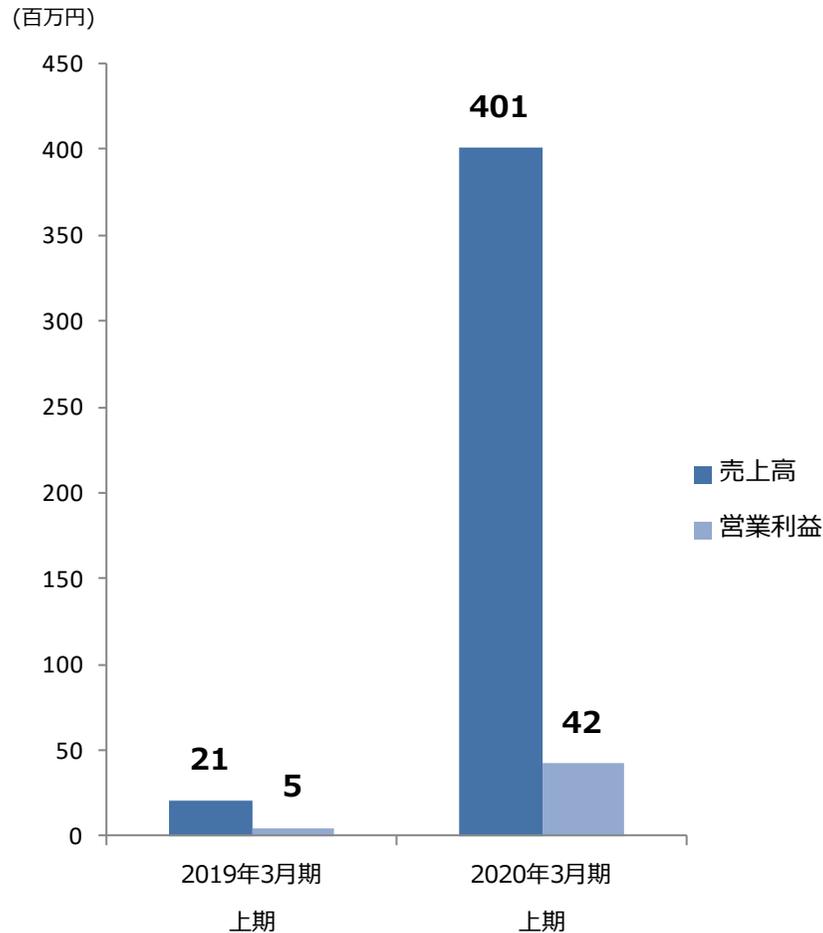
		2019年3月期	2020年3月期	前年同期比	
		上期	上期		増減率
海外通信事業	売上高	899	644	▲ 255	-28.4%
	営業利益	250	237	▲ 13	-5.2%
フィリピン国内 通信事業	売上高	21	401	379	1756.6%
	営業利益	5	42	36	634.2%
国内通信事業	売上高	1,321	1,584	263	20.0%
	営業利益	111	172	61	54.7%
在留フィリピン人関 連事業	売上高	139	105	▲ 34	-24.5%
	営業利益	▲ 13	▲ 39	▲ 25	190.0%
医療・美容事業	売上高	360	426	65	18.2%
	営業利益	118	133	14	12.1%
合 計	売上高	2,742	3,161	419	15.3%
	営業利益	472	546	73	15.5%



**短期リースの提供容量は拡大したものの、単価が下落
マニラの顧客数が頭打ち。地方での回線敷設が急務**

ミンダナオ島において、現地のCATV事業者と協業し、光ファイバー回線敷設を実施中。
地方でのIRU案件の開拓を推進。

マニラ地区でのCATV事業者向けには、引き続き戦略的な価格提供を実施。



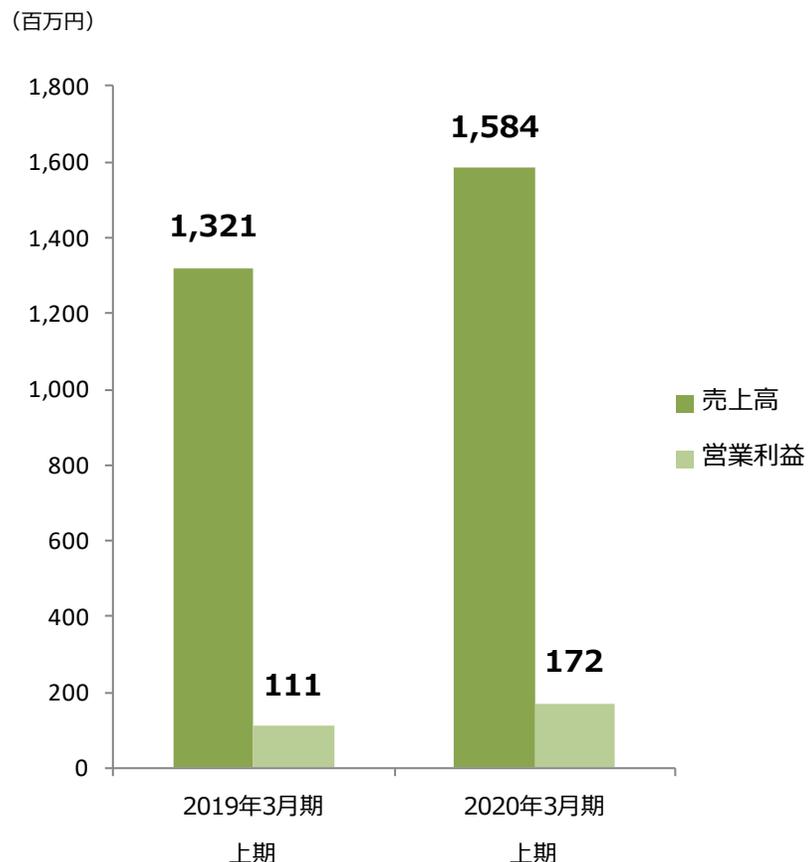
マニラ首都圏法人向けインターネット接続サービスが順調に拡大

マカティ市でのサービス提供可能ビルが増加し、顧客数も順調に拡大。

マカティなどでの、CBD（商業地域）での自社回線の拡大。

あわせてマニラ首都圏の鉄道網に回線を敷設して、CBDを接続している。
マニラ首都圏での高架鉄道LRT2に光ファイバー網を敷設し、他社への長期リースを開始。MRT3での敷設を推進中。

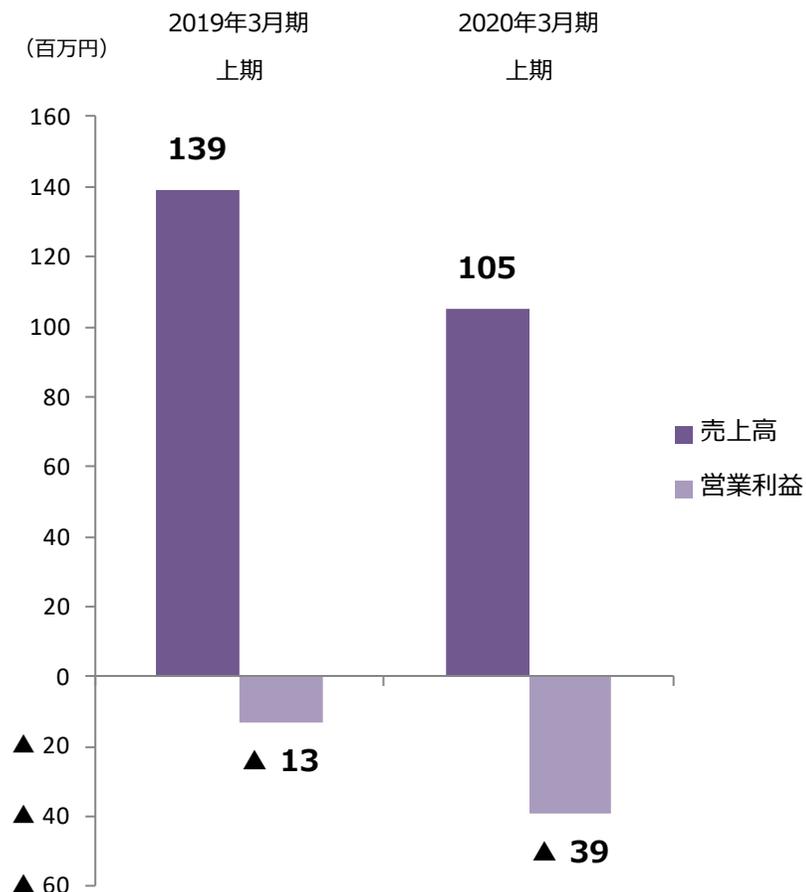
今後も、法人向けインターネット接続サービスの積極的な販売を実施していく。



コールセンターシステム、秒課金サービス等が好調に推移

コールセンターシステムAmeyoJのライセンス料の伸長や、AmeyoJと秒課金サービスを合わせたコールセンターソリューションの売上が拡大し、引き続き好調を保持。

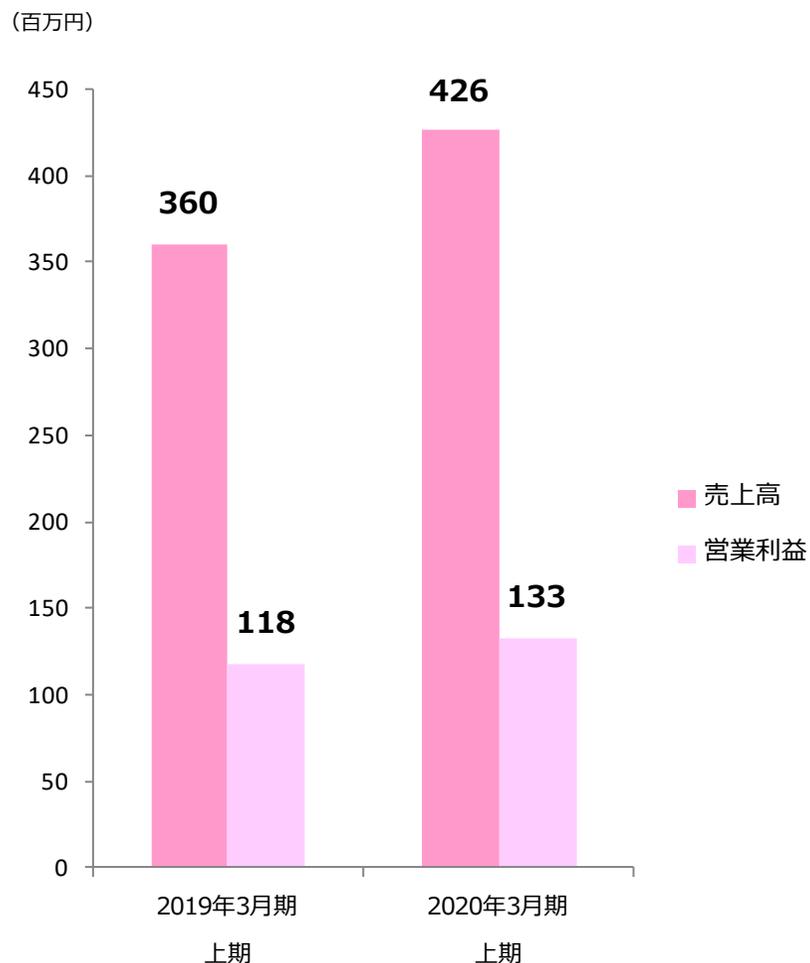
今後も、市場環境の変化に応じた多様なサービスの提供により、新規顧客開拓を進めていく。



厳しい採用環境の状況が業績にも影響

厳しい採用環境の影響で人材の確保が難しく、人材派遣・職業紹介が伸び悩んだ。

IT技術者・フィリピンで活躍している人材など、高度人材分野の事業化を進めて、収益の改善を図っております。



レーシック施術が牽引役となり、引き続き好調に推移

インフルエンサーとタイアップしたSNSマーケティングや、保険会社と提携したプロモーションなど、積極的な営業活動により、レーシック施術が引き続き好調に推移した。

今年度中にはBonifacio Global Cityに、新たに高所得者を対象とした第3院を開設、2020年初頭より本格営業活動の予定。

連結貸借対照表（サマリー）

（単位：百万円）

資産の部				負債・純資産の部			
	2019年3月期末	2020年3月期 2Q	増減		2019年3月期末	2020年3月期 2Q	増減
流動資産	5,142	5,107	▲ 34	流動負債	2,306	2,120	▲ 186
現金及び預金	2,512	2,719	206	買掛金	406	329	▲ 77
売掛金	1,011	951	▲ 59	借入金	300	299	▲ 1
リース投資資産	1,247	1,162	▲ 84	その他	1,600	1,492	▲ 108
その他	371	273	▲ 97	固定負債	711	625	▲ 85
				負債合計	3,018	2,745	▲ 272
固定資産	1,603	1,862	259	純資産	3,728	4,224	496
有形固定資産	868	1,147	278	株主資本	3,170	3,507	337
無形固定資産	198	163	▲ 34	累積包括利益	▲ 45	▲ 23	21
投資その他資産	536	551	15	新株予約権	-	7	7
				非支配株主持分	603	733	130
資産合計	6,746	6,970	224	負債・純資産合計	6,746	6,970	224

(単位：百万円)

	2019年3月期 通期実績	2020年3月期	
		通期予想	前年実績比
売上高	5,780	7,000	1,219 (+21.1%)
営業利益	945	1,200	254 (+26.9%)
経常利益	1,001	1,190	188 (+18.8%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	588	640	51 (+8.8%)

通期予想の概要

- 売上は70億円、営業利益は12億円を計画。
- 海外通信事業では、ミンダナオ島などの地方案件の積極的な獲得を計画。
- フィリピン国内通信事業では、法人向けインターネット接続サービスの安定的な拡大を図るとともに、ミンダナオ島での光ファイバー敷設など、積極的な投資を計画。
- 国内通信事業では、引き続きコールセンター向けサービスの拡大を計画。
- 在留フィリピン人関連事業では、旺盛な人材需要に対応した体制の再構築中。
- 医療・美容事業では、引き続きレーシックの拡大を計画。

2020年3月期 セグメント別業績予想



(単位：百万円)

セグメント	2019年3月期	2020年3月期予想	前年比	
			増減	増減率
売上高	5,780	7,000	1,219	21.1%
海外通信事業	1,503	1,565	61	4.1%
フィリピン国内通信事業	354	1,010	655	184.9%
国内通信事業	2,895	3,190	294	10.2%
在留フィリピン人関連事業	264	400	135	51.5%
医療・美容事業	762	835	72	9.5%
営業利益	945	1,200	254	26.9%
海外通信事業	489	540	50	10.3%
フィリピン国内通信事業	▲ 12	130	142	—
国内通信事業	268	270	1	0.4%
在留フィリピン人関連事業	▲ 40	0	40	—
医療・美容事業	240	260	19	8.2%
営業利益率	16.4%	17.1%	—	—
海外通信事業	32.6%	34.5%	—	—
フィリピン国内通信事業	—	12.9%	—	—
国内通信事業	9.3%	8.5%	—	—
在留フィリピン人関連事業	—	—	—	—
医療・美容事業	31.5%	31.1%	—	—

3 | 2020年3月期上期 Topics

Topics 1 MRT 3号線への回線敷設



当社フィリピン子会社InfiniVAN社は、6月にマニラの主要商業地域を結ぶ高架鉄道MRT 3号線の運営会社との間で、通信回線の敷設で合意いたしました。

年内の全線開通を目指して、回線敷設を進めております。

これにより、下記の3つの主要商業地域が接続され、BPOが集積するクバオでも本格的にインターネット接続サービスが始まります。



マカティ



オルティガス



クバオ

Topics2 ミンダナオ島での回線敷設



2019年8月より、回線敷設工事が開始。

20か所以上に、CATV事業者との接続ポイントを設置。

10月末の段階で、新規敷設区間の約2割にあたる379kmの工事が終了しております。

ダバオ周辺では、年度内にCATV事業者にグアムまでの回線が提供できるよう、機器の調達など準備を進めてまいります。



ミンダナオ島各地で工事を進めております。(CDO 2019年11月)

Topics 3 パナイ島での回線敷設



2019年11月7日パナイ島で、現地パートナーに対する建設に関する説明会を実施し、回線敷設のための資材を供給いたしました。

今月より敷設工事を開始することになっております。

距離は600kmほどになります。



パナイ島の位置



Topics 4 レーシックに特化した、第3院目のクリニックの新設

Shinagawa Lasik & Aesthetics Corporationは、レーシックに特化した第3院を、来年2月にBonifacio Global Cityに開院するための準備を進めております。

レーシックは、新しいイメージキャラクターも採用し、イベントやSNSを通じてさらに市場の掘り起こしを進めてまいります。

また同社のフィリピン証券取引所本則市場への上場に向けて、増資やアドバイザーの選定しております。



会社名
(英文社名)

株式会社アイ・ピー・エス
IPS, Inc.

設 立

1991年10月

本社所在地

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル8階

事業内容

海外通信事業：フィリピンのCATV事業者等に国際通信回線を提供

フィリピン国内通信事業：フィリピン国内での法人向けISPの提供

国内通信事業：日本国内での通信サービスの提供

在留フィリピン人関連事業：日本国内での在留外国人向け求人サービスの提供など

医療・美容事業：フィリピンでの医療・美容サービスの提供

グループ企業

連結子会社

KEYSQUARE INC.

Shinagawa Lasik & Aesthetics Center Corporation

InfiniVAN, Inc.

- ▶ 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- ▶ 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- ▶ 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- ▶ 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

《IRに関するお問い合わせ先》

株式会社 アイ・ピー・エス
〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1
東劇ビル8階

TEL: 03-3549-7719 FAX: 03-3545-7331

